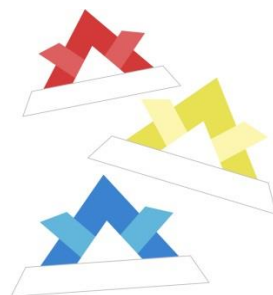


石川県教育支援センター

## やすらぎ小松通信 5月号

〒923-8531 小松市島田町イ85-1(小松北高校敷地内)  
 TEL 0761-23-6669 FAX 0761-21-7479  
 E-mail yasuko@ishikawa-c.ed.jp



## 室長あいさつ

やすらぎ小松教室  
 室長 橋場 孝

1月1日に発生した能登半島地震では、いつ何が起こるか分からないという、当たり前のことを改めて感じさせられました。ご自身や、近い方々が被災されたという方もいらっしゃると思います。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

どのような人であれ、程度の差はありますが、日々の生活には様々な困難やストレスが伴います。そのような中で、悩みもあり、それを解決しようとして頭の中で自問自答しても、感情がグルグル回転しているだけになってしまうこともあるでしょう。

そんなときに、人に話してみるということが、状況を打開する一つの方法です。自分を困惑させる状況や感情、問題点などを人に話すことで解決の糸口が見えてくるかもしれません。自分の置かれた状況や問題点が明らかになれば、相手から何かを提示されるまでもなく、アプローチの方法が自分で見いだせる場合もあるでしょう。

小松やすらぎ教室は高校生や保護者の方の相談場所となっています。他者に相談することができるようになれば、将来、他者の相談にのることができるようにもなると思います。気軽に教室に電話または来室してご相談ください。

## ～教育支援センター「やすらぎ小松教室」では～

原則として小松・能美地区に在学または在住の高校生で、こころに不安や悩みがあって学校になじめなくなったり、登校できなくなったりした生徒を対象に、

- ① 心が安定できる居場所づくり
- ② 体験活動や学力の補充を通して、学校への復帰を支援
- ③ 本人の社会的自立がはかれるように、在籍高校をはじめ関係機関とも連携した取り組み

を行います。

公認心理師・臨床心理士や社会福祉士の先生方による個別相談会を中心に据えて、高校生やその保護者に対するカウンセリングを実施し、生徒の抱える悩みや課題の解決のために支援を行っていきたくと考えています。今年度は、あらたに小縣ゆかり先生をSV（公認心理師・臨床心理士）としてお迎えしました。

年度当初は新しい環境となり、様々な悩みを抱えやすい時期かもしれません。深刻化する前に、遠慮せずやすらぎ教室の個別相談を利用していただければと思います。



## 令和6年度 やすらぎ小松教室 スタッフ

室長	橋場 孝	副室長	端井 孝憲
相談員	桐生 裕三	相談員	稲葉 幹雄
SV	小縣ゆかり (公認心理師・臨床心理士)		
SC	西崎 伸子 (公認心理師)		
SSW	桑原 千恵 (社会福祉士)		

### ■ SV(スーパーバイザー)個別相談会 ■

要予約 公認心理師・臨床心理士 小縣ゆかり先生による相談会

5月… 1日、8日、15日、29日

6月… 5日、12日、19日、26日

7月… 3日、10日、17日、24日

※原則として水曜日の午前中に実施しています。

### ■ SC(スクールカウンセラー)個別相談会 ■

要予約 公認心理師 西崎伸子先生による相談会

5月… 20日

6月… 3日

7月… 1日

※原則として、月1回、月曜日の午前中に実施しています。

### ■ SSW(スクールソーシャルワーカー)個別相談会 ■

SSW(スクールソーシャルワーカー)個別相談会は、「児童生徒の取り巻く環境」に注目して、問題の解決を図ることを目的としています。本教室に派遣されるSSWは、社会福祉士の資格を有し、生徒を取り巻く環境の影響や生徒の高校生活そのものから生じる悩みについて、お話を伺います。さらに、行政・関係機関などと連携し、時には既存の制度を活用して、生徒を取り巻く環境に対する問題解決に努めるものです。

要予約 社会福祉士 桑原千恵 先生による相談会

5月… 21日      6月… 18日      7月… 9日

※原則として、月1回、火曜日の午前に実施しています。

やすらぎ小松教室では、高校生の皆さんの悩みについての相談を、在籍する高校と課題を共有し、連携をとりながら解決に近づくためのものと考えています。ただし、相談内容や相談そのものについて「学校には知られたくない」という場合には、その意に沿って対応いたします。

当教室の臨床心理士や社会福祉士による個別相談内容についても、学校での適切な指導の一助とするために、相談者の了解の下、差し障りのない範囲で学校にお知らせしています。

#### 『やすらぎ小松教室』

ちょっと学校を離れ  
ゆっくりと心と体を休めませんか  
一人で自分を見つめてみませんか  
ときには仲間と語り合いませんか  
自分のできることを見つけませんか

